

<為替ヘッジあり・3ヵ月決算型>

第30期末 (2025年9月25日)	
基準価額	7,591円
純資産総額	51億円
第29期～第30期 (2025年3月26日～2025年9月25日)	
騰落率	1.8%
分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<為替ヘッジあり・資産成長型>

第15期末 (2025年9月25日)	
基準価額	8,253円
純資産総額	67億円
騰落率	1.8%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイ・デンマーク・ カバード債券ファンド

(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)

(為替ヘッジあり・資産成長型)

【愛称】デニッシュ・インカム

追加型投信／海外／債券 **特化型**

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2025年3月26日～2025年9月25日

<3ヵ月決算型>

第29期 (決算日 2025年6月25日)

第30期 (決算日 2025年9月25日)

<資産成長型>

第15期 (決算日 2025年9月25日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)／(為替ヘッジあり・資産成長型)」は、2025年9月25日に決算を行いました。

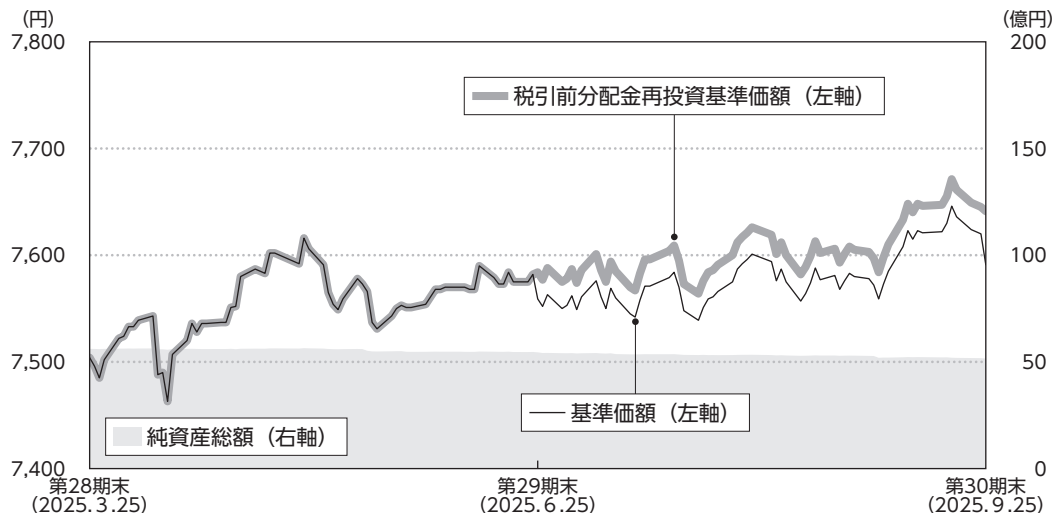
各ファンドは、「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2025年3月26日～2025年9月25日

## 基準価額等の推移



第29期首	7,504円	既払分配金	50円
第30期末	7,591円	騰落率（分配金再投資ベース）	1.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・当作成期初から4月末にかけて、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券の価格が上昇したこと
- ・6月以降、デンマーク・カバード債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したことにより価格が上昇したこと
- ・当作成期を通じてデンマーク中央銀行が欧州中央銀行（ECB）に追随して利下げを実施したことにより、為替ヘッジ後の利回りがプラスとなり、キャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

### <下落要因>

- ・5月に欧州長期金利が上昇（債券価格は下落）する中、デンマーク・カバード債券も軟調な値動きとなったこと

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第29期～第30期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	35円	0.460%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,566円です。
（投信会社）	(17)	(0.222)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(17)	(0.222)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.023	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
（保管費用）	( 1)	(0.019)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	37	0.483	

（注1）作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

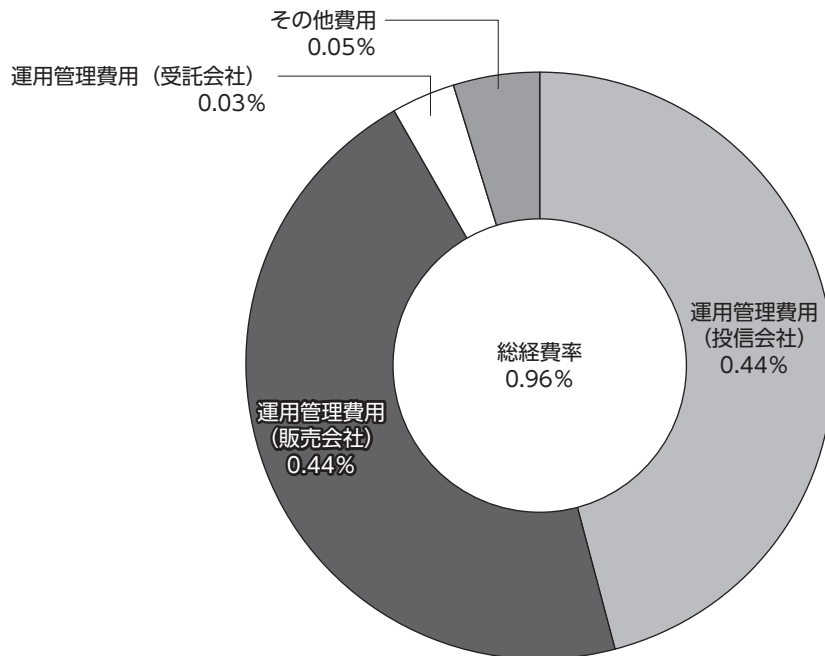
（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



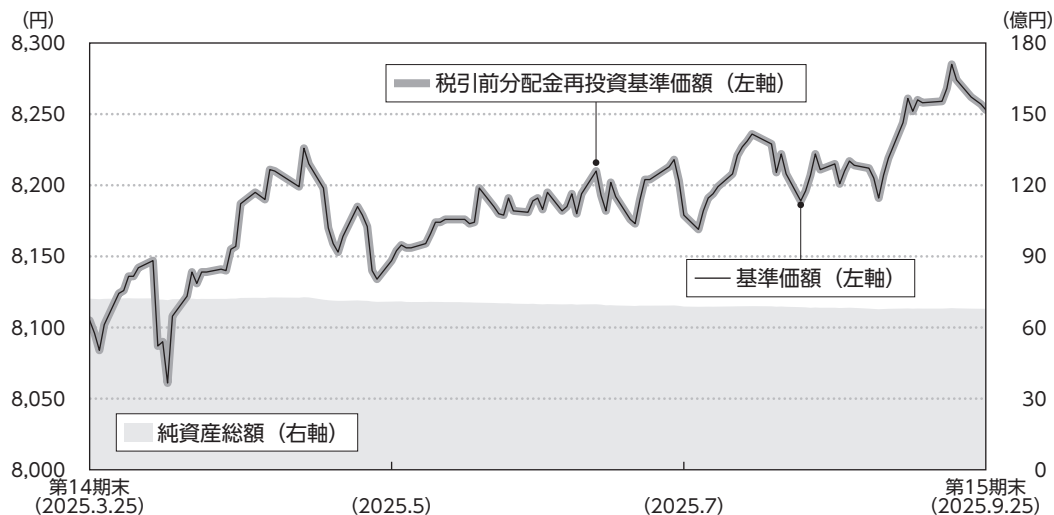
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 基準価額等の推移



第15期首	8,105円	既払分配金	0円
第15期末	8,253円	騰落率（分配金再投資ベース）	1.8%

（注1）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・期初から4月末にかけて、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券の価格が上昇したこと
- ・6月以降、デンマーク・カバード債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したことにより価格が上昇したこと
- ・期を通じてデンマーク中央銀行が欧州中央銀行（ECB）に追随して利下げを実施したことにより、為替ヘッジ後の利回りがプラスとなり、キャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

### <下落要因>

- ・5月に欧州長期金利が上昇（債券価格は下落）する中、デンマーク・カバード債券も軟調な値動きとなったこと

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第15期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	38円	0.460%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,186円です。
（投信会社）	(18)	(0.222)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(18)	(0.222)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.023	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
（保管費用）	( 2)	(0.019)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	40	0.483	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

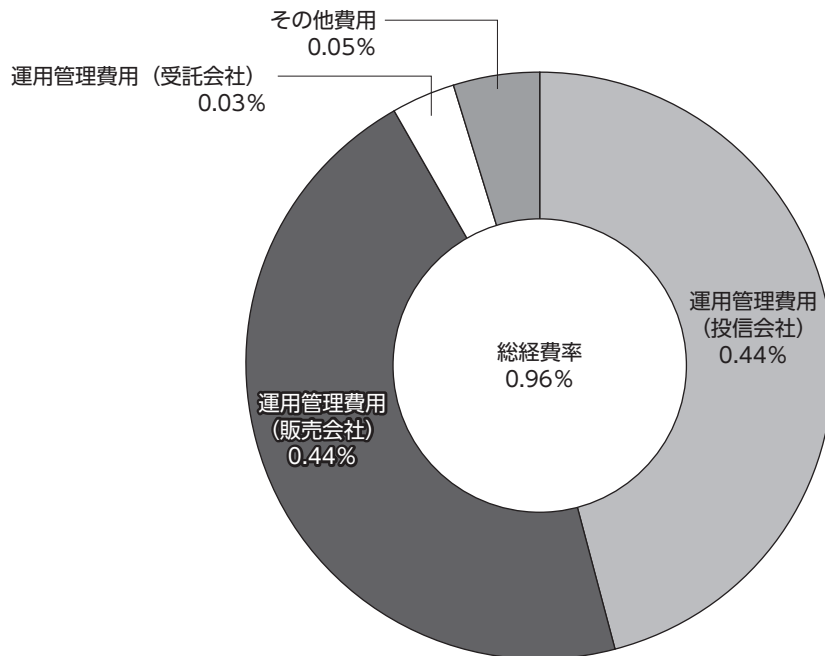
（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

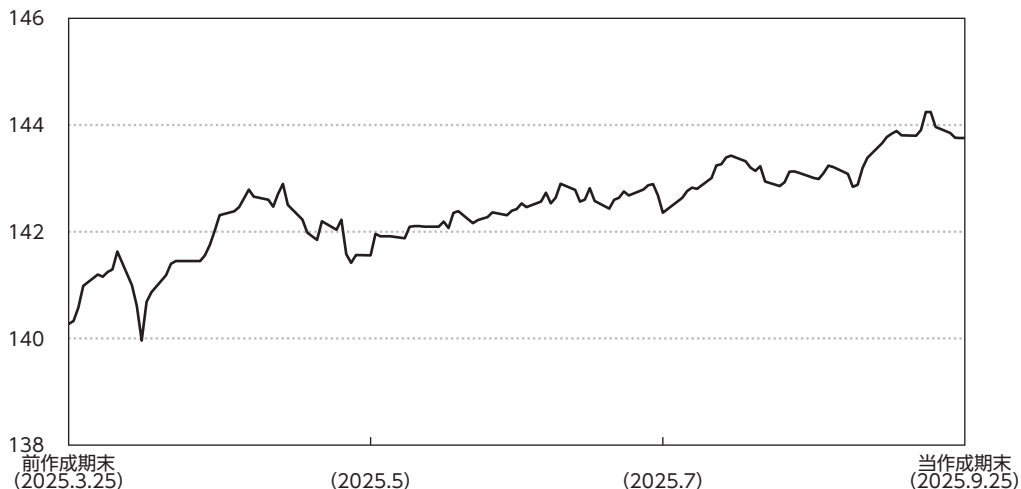
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディット トータル インデックス（円ヘッジ）の推移】



（注）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当作成期初以降、米国の相互関税発表と中国の報復関税により金利は乱高下しましたが、4月17日のECB理事会で政策金利の引き下げが決定され、今後の追加利下げにも前向きな姿勢が示されたため低下（債券価格は上昇）しました。5月には米国と中国が相互関税の引き下げに合意し、関税政策の緩和を受けて金利は上昇に転じました。6月以降はECBが政策金利の引き下げを決定したものの、ラガルドECB総裁が政策スタンスの緩和サイクル終了を示唆したことに加え、ドイツの国債発行増加や米国の減税法案成立など、世界的に財政拡張への懸念が高まり金利は上昇しました。また、米国と各国との関税協議が進展し、過度な景気後退懸念が薄れたことを背景に金利は上昇基調で推移しました。その後も7月と9月のECB理事会で政策金利が据え置かれたことや、ラガルドECB総裁の会見を受けて利下げ観測が後退したことにより、当作成期末にかけて金利は上昇基調となりました。

デンマーク・カバード債券については、当作成期初から4月末にかけて米国の関税政策による緊張感の高まりから乱高下しつつも、欧州長期金利が低下する中、価格は上昇基調で推移しました。5月は欧州長期金利の上昇により価格は上昇幅を縮小しましたが、6月以降は欧州長期金利が上昇基調を維持する一方、デンマーク・カバード債券のスプレッドが縮小したことにより上昇しました。



## ポートフォリオ

### ■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、各ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、各ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

### ■マザーファンド

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当作成期末時点でユスケ・レアルクレジット（28.6%）、ニクレジット・レアルクレジット（28.2%）、ノルディア・クレジット（28.1%）、レアルクレジット・デンマーク（15.0%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、各ファンドにかかる格付ではありません。

## ベンチマークとの差異

### ■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

### ■為替ヘッジあり・資産成長型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

### ■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第29期 2025年3月26日～2025年6月25日	第30期 2025年6月26日～2025年9月25日
当期分配金（税引前）	25円	25円
対基準価額比率	0.33%	0.33%
当期の収益	25円	25円
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	580円	602円

### ■為替ヘッジあり・資産成長型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2025年3月26日～2025年9月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,165円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■マザーファンド

欧州債券市場についてはレンジ圏での推移を予想します。ラガルドＥＣＢ総裁を筆頭に複数のＥＣＢ高官が様子見姿勢を強めているほか、米国と欧州連合（ＥＵ）が関税交渉で合意したことなどを背景に景況感が改善しつつあり、追加利下げ観測は後退しています。一方、キャリー（金利）水準の改善から債券需要は高まりやすく、金利が上昇したタイミングでは投資家からの買い支えが期待できることから、当面はレンジ圏でのみ合い推移になると予想しています。

デンマーク・カバード債券については、各国の政策金利の引き下げに伴ってキャリー収益への選好姿勢が高まる中、相対的に高い信用力と良好な利回りを背景に需要は高まるとみています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

# ファンドデータ

## ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・3ヵ月決算型）の組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第30期末 2025年9月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

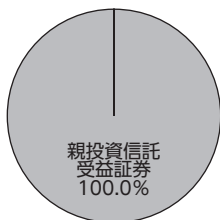
（注2）組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

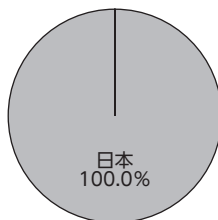
項目	第29期末 2025年6月25日	第30期末 2025年9月25日
純資産総額	5,447,401,532円	5,155,772,522円
受益権総口数	7,206,698,663口	6,791,986,651口
1万口当たり基準価額	7,559円	7,591円

（注）当作成期間（第29期～第30期）中における追加設定元本額は15,800,175円、同解約元本額は701,566,077円です。

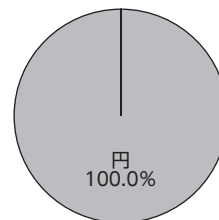
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2025年9月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）の組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第15期末 2025年9月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

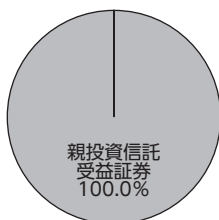
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

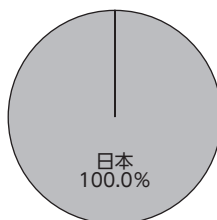
項目	第15期末 2025年9月25日
純資産総額	6,788,415,060円
受益権総口数	8,225,614,211口
1万口当たり基準価額	8,253円

(注) 当期間中における追加設定元本額は23,419,860円、同解約元本額は701,128,451円です。

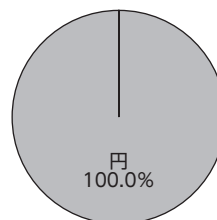
### ■資産別配分



### ■国別配分



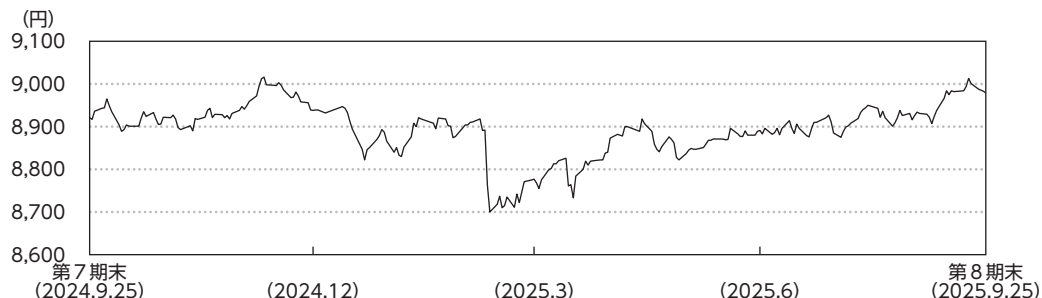
### ■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年9月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

# ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドの概要

## ■基準価額の推移



## ■上位銘柄

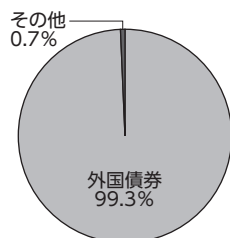
銘柄名	通貨	比率
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	18.6%
NYKREDIT REALKREDIT AS 5.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	12.8
REALKREDIT DANMARK 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	11.9
NYKREDIT REALKREDIT AS 4.0% 2056/10/1	デンマーク・クローネ	11.4
JYSKE REALKREDIT A/S 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	9.9
JYSKE REALKREDIT A/S 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	9.1
JYSKE REALKREDIT A/S 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	8.4
NORDEA KREDIT REALKREDIT 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	4.2
NYKREDIT REALKREDIT AS 3.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	3.4
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	3.1
組入銘柄数		14

## ■1万口当たりの費用明細

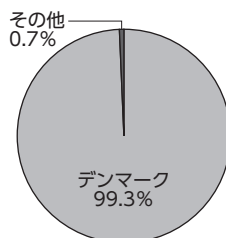
2024.9.26～2025.9.25

項目	金額
その他費用 (保管費用)	3円 (3)
(その他)	(0)
合計	3

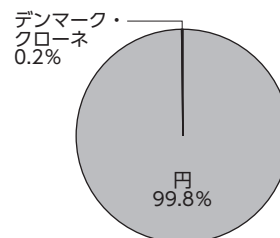
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年9月25日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

# 最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	百万円
21期（2023年 6 月26日）	7,436	25	△2.2	7,936	103.9	7,666
22期（2023年 9 月25日）	7,329	25	△1.1	7,854	99.1	7,124
23期（2023年12月25日）	7,700	25	5.4	8,250	94.5	7,095
24期（2024年 3 月25日）	7,626	25	△0.6	8,201	98.7	6,780
25期（2024年 6 月25日）	7,524	25	△1.0	8,124	99.4	6,515
26期（2024年 9 月25日）	7,713	25	2.8	8,338	98.8	6,471
27期（2024年12月25日）	7,685	25	△0.0	8,335	96.0	6,112
28期（2025年 3 月25日）	7,504	25	△2.0	8,179	100.5	5,611
29期（2025年 6 月25日）	7,559	25	1.1	8,259	100.6	5,447
30期（2025年 9 月25日）	7,591	25	0.8	8,316	99.3	5,155

（注 1）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注 2）「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

（注 3）当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

（注 4）作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

## 当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日		基準価額	騰落率	債券 組入比率
第 29 期	(期首) 2025年 3 月25日	円 7,504	% －	% 100.5
	3 月末	7,522	0.2	96.5
	4 月末	7,583	1.1	99.2
	5 月末	7,551	0.6	98.0
	(期末) 2025年 6 月25日	7,584	1.1	100.6
第 30 期	(期首) 2025年 6 月25日	7,559	－	100.6
	6 月末	7,550	△0.1	99.6
	7 月末	7,561	0.0	97.7
	8 月末	7,580	0.3	98.2
	(期末) 2025年 9 月25日	7,616	0.8	99.3

（注）期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年3月26日～2025年9月25日

	第29期～第30期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	千口 13,529	千円 11,998	千口 664,724	千円 591,373

(注) 単位未満は切り捨てています。

## 利害関係人との取引状況等

2025年3月26日～2025年9月25日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

## 親投資信託残高

2025年9月25日現在

種類	第28期末	第30期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	千口 6,393,352	千口 5,742,158	千円 5,155,883

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は13,302,673千口です。

## 投資信託財産の構成

2025年9月25日現在

項目	第30期末	
	評価額	比率
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	千円 5,155,883	% 99.4
コール・ローン等、その他	31,030	0.6
投資信託財産総額	5,186,914	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ23.40円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（11,954,747千円）の投資信託財産総額（12,218,895千円）に対する比率は97.8%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。



## 資産、負債、元本および基準価額の状況

		(2025年6月25日)	(2025年9月25日)現在
項目		第29期末	第30期末
(A) 資 産		5,480,587,509円	5,186,914,019円
コール・ローン等		12,084,770	11,411,124
ニッセイ・デンマーク・カバード債券マザーファンド(評価額)		5,447,496,524	5,155,883,906
未 収 入 金		21,006,215	19,618,989
(B) 負 債		33,185,977	31,141,497
未払収益分配金		18,016,746	16,979,966
未 払 解 約 金		2,257,004	1,834,357
未 払 信 託 報 酬		12,799,127	12,217,570
その他未払費用		113,100	109,604
(C) 純資産総額(A - B)		5,447,401,532	5,155,772,522
元 本		7,206,698,663	6,791,986,651
次期繰越損益金		△1,759,297,131	△1,636,214,129
(D) 受 益 権 総 口 数		7,206,698,663口	6,791,986,651口
1万口当たり基準価額(C/D)		7,559円	7,591円

(注1) 当作成期首元本額 7,477,752,553円  
 当作成期中追加設定元本額 15,800,175円  
 当作成期中一部解約元本額 701,566,077円

(注2) 元本の欠損  
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,636,214,129円です。

## 損益の状況

		(第29期 2025年3月26日～2025年6月25日) (第30期 2025年6月26日～2025年9月25日)	
項目		第29期	第30期
(A) 配 当 等 収 益		6,415円	6,076円
受 取 利 息		6,415	6,076
(B) 有価証券売買損益		70,374,472	51,138,661
売 買 益		71,918,205	51,987,758
売 買 損	△	1,543,733	△ 849,097
(C) 信 託 報 酬 等	△	12,912,227	△ 12,327,174
(D) 当期損益金(A + B + C)		57,468,660	38,817,563
(E) 前期繰越損益金	△1,951,622,481	△1,800,606,512	
(分配準備積立金)	( 169,875,304)	( 177,813,455)	
(繰越欠損金)	(△2,121,497,785)	(△1,978,419,967)	
(F) 追加信託差損益金*		152,873,436	142,554,786
(配当等相当額)	( 229,312,085)	( 216,280,806)	
(売買損益相当額)	(△ 76,438,649)	(△ 73,726,020)	
(G) 合 計(D + E + F)		△1,741,280,385	△1,619,234,163
(H) 収 益 分 配 金	△ 18,016,746	△ 16,979,966	
次期繰越損益金(G + H)		△1,759,297,131	△1,636,214,129
追加信託差損益金		152,873,436	142,554,786
(配当等相当額)	( 229,326,880)	( 216,288,685)	
(売買損益相当額)	(△ 76,453,444)	(△ 73,733,899)	
分配準備積立金		188,830,626	192,619,745
繰越欠損金	△2,101,001,193	△1,971,388,660	

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	第29期	第30期
(a) 経費控除後の配当等収益	36,972,068円	31,786,256円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	229,326,880円	216,288,685円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	169,875,304円	177,813,455円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	436,174,252円	425,888,396円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	605.23円	627.05円
(g) 分配金	18,016,746円	16,979,966円
(h) 分配金(1万口当たり)	25円	25円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	百万円
11期(2023年9月25日)	7,761	0	△3.3	7,761	99.1	9,255
12期(2024年3月25日)	8,128	0	4.7	8,128	98.7	8,726
13期(2024年9月25日)	8,275	0	1.8	8,275	98.8	8,057
14期(2025年3月25日)	8,105	0	△2.1	8,105	100.5	7,215
15期(2025年9月25日)	8,253	0	1.8	8,253	99.3	6,788

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年3月25日	8,105	－	100.5
3月末	8,124	0.2	96.5
4月末	8,190	1.0	99.2
5月末	8,156	0.6	98.0
6月末	8,182	1.0	99.6
7月末	8,194	1.1	97.7
8月末	8,214	1.3	98.2
(期末)2025年9月25日	8,253	1.8	99.3

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年3月26日～2025年9月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	21,621	19,196	682,572	606,678

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年3月26日～2025年9月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2025年9月25日現在

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	8,221,465	7,560,514	6,788,586

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は13,302,673千口です。

投資信託財産の構成

2025年9月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	6,788,586	99.5
コール・ローン等、その他	35,636	0.5
投資信託財産総額	6,824,223	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ23.40円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（11,954,747千円）の投資信託財産総額（12,218,895千円）に対する比率は97.8%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	6,824,223,062円
コール・ローン等	31,351,980
ニッセイ・デンマーク・カバード債券 マザーファンド(評価額)	6,788,586,355
未収入金	4,284,727
(B) 負債	35,808,002
未払解約金	3,254,724
未払信託報酬	32,286,794
その他未払費用	266,484
(C) 純資産総額(A-B)	6,788,415,060
元本	8,225,614,211
次期繰越損益金	△1,437,199,151
(D) 受益権総口数	8,225,614,211口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,253円

(注1) 期首元本額 8,903,322,802円  
 期中追加設定元本額 23,419,860円  
 期中一部解約元本額 701,128,451円

(注2) 元本の欠損  
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は  
 1,437,199,151円です。

## 損益の状況

当期 (2025年3月26日～2025年9月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益 受取利息	34,697円 34,697
(B) 有価証券売買損益 売買益損	154,221,128 160,105,492 △ 5,884,364
(C) 信託報酬等	△ 32,553,278
(D) 当期損益金(A+B+C)	121,702,547
(E) 前期繰越損益金 (分配準備積立金) (繰越欠損金)	△1,801,954,530 ( 585,143,274) (△2,387,097,804)
(F) 追加信託差損益金* (配当等相当額) (売買損益相当額)	243,052,832 ( 286,149,862) (△ 43,097,030)
(G) 合計(D+E+F)	△1,437,199,151
次期繰越損益金(G)	△1,437,199,151
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額) 分配準備積立金 繰越欠損金	243,052,832 ( 286,194,244) (△ 43,141,412) 672,725,622 △2,352,977,605

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	87,582,348円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	286,194,244円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	585,143,274円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	958,919,866円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	1,165.77円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

# お知らせ

## ■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものと捉えています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めていきます。

(2025年4月1日)

## ■各ファンドの約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

# 各ファンドの概要

				為替ヘッジあり・3ヵ月決算型	為替ヘッジあり・資産成長型
商	品	分	類	追加型投信／海外／債券 <span>特化型</span>	
信	託	期	間	2018年4月16日～2028年9月25日	
運	用	方	針	①ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要運用対象	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド			ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド			デンマーク・カバード債券等	
運 用 方 法	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド			以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド			以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分	配	方	針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。

# ニッセイ・デンマーク・カバード債 マザーファンド

## 運用報告書

第 8 期

(計算期間：2024年9月26日～2025年9月25日)

### 運用方針

- ①主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
- ②外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ることをめざします。

### 主要運用 対象

デンマーク・カバード債券等

### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・ 株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
- ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

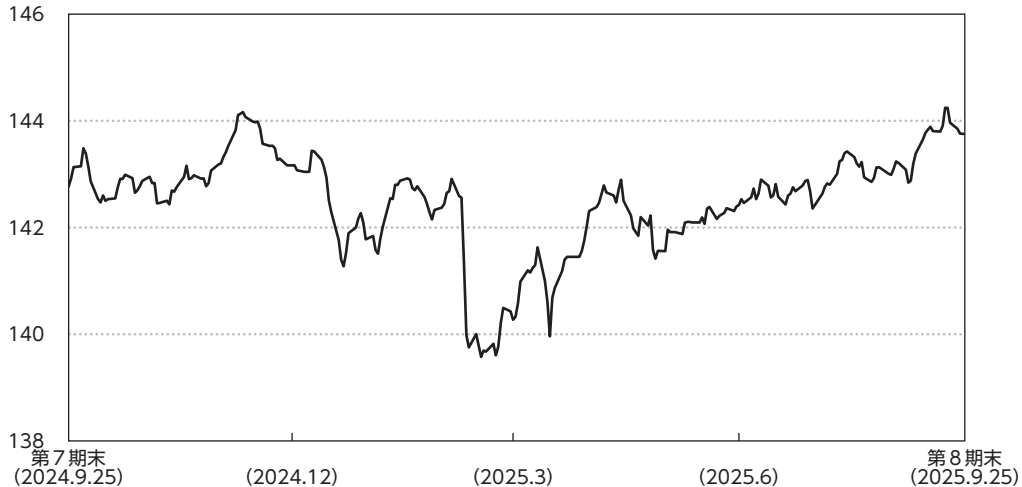


## 運用経過

2024年9月26日～2025年9月25日

## デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディット トータル インデックス（円ヘッジ）の推移】

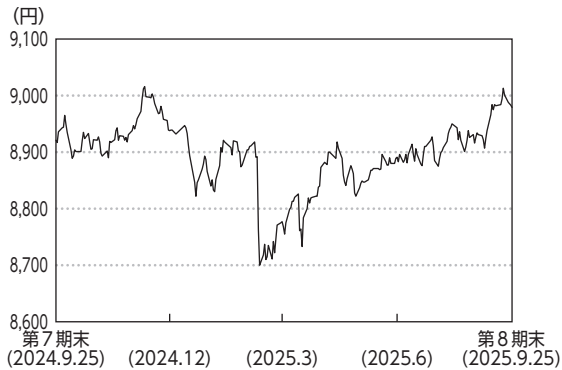


(注) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

期初から2024年11月上旬にかけては、米大統領選におけるトランプ氏の当選に加え、共和党が上下両院の過半数を確保したことを受けて金利は上昇（債券価格は下落）しましたが、その後はトランプ氏が大統領就任後に中国・メキシコ・カナダに対して関税の引き上げを発表したことにより、世界的な経済成長の減速が懸念され11月下旬には低下しました。12月から2025年1月中旬にかけては、欧州中央銀行（ECB）が12月の理事会で政策金利の引き下げを決定したものの、ラガルドECB総裁の会見が想定されていたほど金融緩和に前向きな姿勢ではなかったことや、事業会社の旺盛な起債を背景に金利は上昇基調となりました。その後、2月上旬にかけてはECBが政策金利の追加引き下げを決定したことや経済指標の悪化を受けて金利は低下しましたが、2月中旬以降はドイツが大規模な財政拡張案を発表したことなどから財政悪化懸念が意識され大きく上昇しました。その後は米国の相互関税発表と中国の報復関税により金利は乱高下しましたが、4月17日のECB理事会で再び政策金利の引き下げが決定され、今後の追加利下げにも前向きな姿勢が示されたため低下しました。5月には米国と中国が相互関税の引き下げに合意し、関税政策の緩和を受けて金利は上昇に転じました。6月以降はECBが政策金利の引き下げを決定したものの、ラガルドECB総裁が政策スタンスの緩和サイクル終了を示唆したことに加え、ドイツの国債発行増加や米国の減税法案成立など、世界的に財政拡張への懸念が高まり金利は上昇しました。また、米国と各国との関税協議が進展し、過度な景気後退懸念が薄れたことを背景に金利は上昇基調で推移しました。その後も7月と9月のECB理事会で政策金利が据え置かれたことや、ラガルドECB総裁の会見を受けて利下げ観測が後退したことにより、当期末にかけて金利は上昇基調となりました。

デンマーク・カバード債券については、期初から2024年11月上旬にかけて欧州長期金利が上昇する中、価格は下落しました。11月中旬から月末にかけては欧州長期金利が低下基調で推移する中、価格は上昇する場面も見られましたが、12月以降は欧州長期金利が上昇基調で推移する中、下落しました。その後、2025年4月末にかけて米国の関税政策による緊張感の高まりから乱高下しつつも、欧州長期金利が低下する中、価格は上昇基調で推移しました。5月は欧州長期金利の上昇により価格は上昇幅を縮小しましたが、6月以降は欧州長期金利が上昇基調を維持する一方、デンマーク・カバード債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したことにより上昇しました。

## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 2024年11月中旬から12月上旬および2025年3月中旬から4月末にかけて、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券の価格が上昇したこと
- ・ 6月以降、デンマーク・カバード債券のスプレッドが縮小したことにより価格が上昇したこと
- ・ 期を通じてデンマーク中央銀行がECBに追随して利下げを実施したことにより、為替ヘッジ後の利回りがプラスとなり、キャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

#### <下落要因>

- ・ 2024年12月中旬から2025年3月上旬および5月に、欧州長期金利が上昇（債券価格は下落）する中、デンマーク・カバード債券も軟調な値動きとなったこと

## ポートフォリオ

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当期末の格付別構成比はAAA格（100.0%）であり、平均格付はAAA格を継続しました。

発行体別構成比は当期末時点でユスケ・リアルクレジット（28.6%）、ニククレジット・リアルクレジット（28.2%）、ノルディア・クレジット（28.1%）、リアルクレジット・デンマーク（15.0%）としています。

(注1) 比率は対組入債券評価額比です。

(注2) 格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付はありません。

## ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

欧州債券市場についてはレンジ圏での推移を予想します。ラガルドＥＣＢ総裁を筆頭に複数のＥＣＢ高官が様子見姿勢を強めているほか、米国と欧州連合（ＥＵ）が関税交渉で合意したことなどを背景に景況感が改善しつつあり、追加利下げ観測は後退しています。一方、キャリー（金利）水準の改善から債券需要は高まりやすく、金利が上昇したタイミングでは投資家からの買い支えが期待できることから、当面はレンジ圏でのみ合い推移になると予想しています。

デンマーク・カバード債券については、各国の政策金利の引き下げに伴ってキャリー収益への選好姿勢が高まる中、相対的に高い信用力と良好な利回りを背景に需要は高まるとみています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

## お知らせ

### ■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
	円	%	%	百万円
4期 (2021年9月27日)	10,419	△ 4.7	97.7	51,590
5期 (2022年9月26日)	8,200	△21.3	97.8	24,720
6期 (2023年9月25日)	8,290	1.1	99.1	18,128
7期 (2024年9月25日)	8,921	7.6	98.8	14,812
8期 (2025年9月25日)	8,979	0.7	99.3	11,943

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首) 2024年 9 月25日	8,921	—	98.8
9 月末	8,943	0.2	97.3
10月末	8,898	△0.3	101.8
11月末	8,959	0.4	94.6
12月末	8,932	0.1	94.6
2025年 1 月末	8,852	△0.8	95.4
2 月末	8,911	△0.1	94.9
3 月末	8,799	△1.4	96.5
4 月末	8,878	△0.5	99.2
5 月末	8,847	△0.8	98.0
6 月末	8,882	△0.4	99.6
7 月末	8,902	△0.2	97.7
8 月末	8,931	0.1	98.2
(期末) 2025年 9 月25日	8,979	0.7	99.3

(注) 騰落率は期首比です。

## 1 万口当たりの費用明細

2024年9月26日～2025年9月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	3円	0.039%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.039)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	3	0.039	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（8,893円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 売買および取引の状況

2024年9月26日～2025年9月25日

## 公社債

			買付額	売付額
外国	デンマーク	社債券	千デンマーク・クローネ 39,980	千デンマーク・クローネ 165,648 ( 44,051)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2024年9月26日～2025年9月25日

## 公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
NYKREDIT REALKREDIT AS	599,082	NORDEA KREDIT REALKREDIT	966,026
NYKREDIT REALKREDIT AS	130,987	NYKREDIT REALKREDIT AS	748,261
NORDEA KREDIT REALKREDIT	129,428	JYSKE REALKREDIT A/S	666,542
—	—	NYKREDIT REALKREDIT AS	360,554
		NYKREDIT REALKREDIT AS	245,485
		JYSKE REALKREDIT A/S	217,642
		JYSKE REALKREDIT A/S	111,935
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	102,471
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	71,077
		NYKREDIT REALKREDIT AS	64,400

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2025年9月25日現在

## 外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円	%	%	%	%	%
デンマーク	542,741	506,977	11,863,267	99.3	—	99.3	—	—
合計	—	—	11,863,267	99.3	—	99.3	—	—

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

# ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					邦貨換算金額	
デンマーク		%		千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円
社債券	JYSKE REALKREDIT A/S	1.5000	2050/10/01	6,141	4,968	116,264
	JYSKE REALKREDIT A/S	2.0000	2050/10/01	53,440	46,362	1,084,884
	JYSKE REALKREDIT A/S	2.5000	2053/10/01	55,873	50,550	1,182,876
	JYSKE REALKREDIT A/S	4.0000	2053/10/01	42,681	42,994	1,006,078
	NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2050/10/01	18,033	15,660	366,461
	NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2053/10/01	12,384	10,414	243,703
	NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.5000	2053/10/01	105,027	95,123	2,225,895
	NORDEA KREDIT REALKREDIT	4.0000	2053/10/01	21,231	21,408	500,948
	NYKREDIT REALKREDIT AS	1.0000	2053/10/01	2,908	2,280	53,361
	NYKREDIT REALKREDIT AS	3.5000	2053/10/01	17,795	17,445	408,216
	NYKREDIT REALKREDIT AS	5.0000	2053/10/01	62,923	65,494	1,532,578
	NYKREDIT REALKREDIT AS	4.0000	2056/10/01	57,837	57,979	1,356,730
	REALKREDIT DANMARK	2.0000	2050/10/01	70,011	60,724	1,420,963
	REALKREDIT DANMARK	3.0000	2053/10/01	16,451	15,568	364,303
合計		—	—	—	—	11,863,267

## 投資信託財産の構成

2025年9月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	11,863,267	97.1
コール・ローン等、その他	355,628	2.9
投資信託財産総額	12,218,895	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ23.40円です。

(注2) 外貨建純資産（11,954,747千円）の投資信託財産総額（12,218,895千円）に対する比率は97.8%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年9月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	24,682,035,493円
コール・ローン等	261,044,993
公社債(評価額)	11,863,267,087
未収入金	12,467,558,986
未収利息	90,164,427
(B) 負債	12,738,094,444
未払金	12,714,190,728
未払解約金	23,903,716
(C) 純資産総額(A-B)	11,943,941,049
元本	13,302,673,195
次期繰越損益金	△ 1,358,732,146
(D) 受益権総口数	13,302,673,195口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,979円

- (注1) 期首元本額 16,603,301,167円  
 期中追加設定元本額 68,680,937円  
 期中一部解約元本額 3,369,308,909円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。  
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型) 5,742,158,265円  
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド(為替ヘッジあり・資産成長型) 7,560,514,930円

- (注3) 元本の欠損  
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,358,732,146円です。

## 損益の状況

当期(2024年9月26日~2025年9月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	442,310,634円
受取利息	442,310,634
(B) 有価証券売買損益	△ 373,756,665
売買益	2,252,442,311
売買損	△ 2,626,198,976
(C) 信託報酬等	△ 5,168,369
(D) 当期損益金(A+B+C)	63,385,600
(E) 前期繰越損益金	△ 1,790,689,802
(F) 追加信託差損益金	△ 7,639,027
(G) 解約差損益金	376,211,083
(H) 合計(D+E+F+G)	△ 1,358,732,146
次期繰越損益金(H)	△ 1,358,732,146

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。